

地区社協だより もりやま



森山に飛来した「このとり」

新年のごあいさつ



森山地区
社会福祉協議会
会長 山口公德

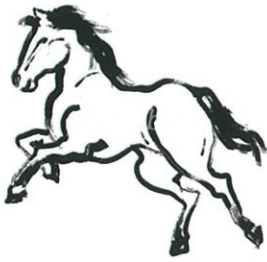
新年明けまして

おめでとーございませう

昨年の地区社協の事業につきま
しては順調に遂行できました。

森山の皆様のご協力ご支援に心よ
り感謝申しあげます。

皆様方にとりまして「午年」の如く
飛躍の年となりますよう、笑顔あふれ
る年となりますよう心より祈念申し
あげ年頭のご挨拶いたします。



防減災の視点で地域を歩いて新たな気づき ～本村地区 本村下の皆さんが「防減災まちあるき」～

「防減災まちあるき」が本村自治会の本村下地区で11月28日に開催されました。この催しは災害に強い地域づくりの一助として住民の防災意識と助け合いを育むことを目的に平成19年から自治会順繰りで開催されているもの。

当日は、自治会役員・消防団幹部・民生委員・福祉協力員・地域の皆様など33人が参加されました。鎮西学院大学佐藤快信名誉教授を講師として「まちあるき」の説明の後、グループで危険箇所の確認と避難経路を防災マップに落とし込む作業を行いました。その後、本村下地区を歩いて一巡し、急傾斜地、水路などの危険箇所を再確認しました。



本村下地区の防減災まちあるき

水頭哲郎本村自治会長は、自治会は防災の視点から年度当初に役員で管内を廻り危険箇所の確認を行っていること、河川の土砂浚渫等を随時実施していること、急傾斜地崩壊対策事業の申請を行っていることとを参加者に説明。参加者からは次のような声がありました。



「この川は増水するばい」

- ◆「車で通過するだけではわからなかったが歩くことによって水路に土砂が堆積する箇所に気づいた」
- ◆「川沿いの道路にガードレールがなく増水したときには危険だ」
- ◆自治会の役員さんが見えないところで地域のために活動してくれていることがわかった」
- ◆「急傾斜地など地元でも気づかなかった危険箇所を知った」

ひとり暮らしの高齢者の方につきたての餅を届けました ～地区社協総動員で恒例の年末もちつきと配付に走り回る～

年の瀬も押し迫るなか、今回で19回目となる地区社協のもちつき・もち配付が12月21日慶師野公民館で行われました。自治会長をはじめ民生委員・児童委員・福祉協力員など森山地区の地域福祉に関わる皆さんが一堂に会しての催しです。

前日は約100kgのもち米を洗って、大広間では配付の会場設営。当日は早朝からもち米を蒸す香りが広がります。もちつきは男性の役目、ちぎってまるめるのは女性の役目、大広間では餅を冷や



馴れた手つきでもちつき

してパック詰め。会場ではスタッフの会話も弾み賑やかな笑い声に和やかな雰囲気になりました。



「柔らかくておいしい餅を届けたい」

つきたての餅は、民生委員が担当地区の対象者に年末の挨拶とともにメッセージを添えて届けました。届け先では「今年もありがとう」「ごちそうになります」との嬉しい言葉をいただきました。また地区社協にも「民生委員さんが

届けてくれた。嬉しかった。ありがとう」とお礼の電話がありました。

今年も諫早東高校生徒さんから温かい贈り物 ～生徒1人ひとりのメッセージを添えてクリスマスプレゼント～

県立諫早東高校（井崎健一郎校長）2年生の皆さんから森山地区ひとり暮らし高齢者の方々へ防災グッズのプレゼントをいただきました。12月10日、同校で井崎校長、荒木教頭、岩村教諭が同席されて贈呈式があり、生徒代表から森山地区社協山口会長へ「少しでもお役に立てれば嬉しいです」と贈られました。2年生全員で作成した防災頭巾は、平時はクッションとして利用し万一の場合に防災頭巾になります。山口会長は「温かい贈り物をありがとう。贈り物と皆さんの気持ちをしっかりとお届けします」とお礼を述べました。今年も、年末の「森山のおもち」配付と一緒に、民生委員・福



生徒代表から山口会長へ

祉協力員が上井牟田・下井牟田地区のひとり暮らしの女性の方へ贈りました。

諫早東高校は、学校内外で防災教育に取り組んでおり、今回の防災グッズプレゼントは、防災学習と地域貢献活動の意義が込められています。同校生徒さんから森山地区高齢者へのプレゼントは、これまで保冷バッグ、リュックサック、エコバックや巾着、ティッシュケース、防災グッズなどがあり、地区順繰りで配付して大変喜ばれています。



「万一のときは、このようにかぶってください」と実演

地域福祉の向上に向けて取り組みます どうぞよろしく

～任期満了に伴う民生委員・児童委員および福祉協力員の改選～

任期満了に伴う民生委員・児童委員は、12月1日付で厚生労働大臣から委嘱されました。また、福祉協力員も12月1日付で森山地区社会福祉協議会が委嘱しました。任期は、いずれも3年間。地域福祉活動に取り組みます。お気軽にご相談ください。

《民生委員・児童委員・主任児童委員》（敬称略）

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
慶師野	土井口京子	杉谷	黒田 和昭	下井牟田	江嶋美代子
本村	田崎 幹夫	杉谷	松尾 憲治	下井牟田	釜崎 弘美
本村	田中 悦子	唐比	木村 和代	主任 児童委員	陣野寿美子 (西小校区)
田尻	西村 昭子	唐比	宮永 伸子		
田尻	川淵エミ子	上井牟田	西山 廣之		

*ゴシックが新任の方

《福祉協力員》（敬称略）

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
慶師野	宮田 春美	杉谷	黒田 園美	下井牟田	末田美須枝
本村	鳥越マズミ	杉谷	山口 一郎	下井牟田	坂本きぬ子
本村	神尾美和子	唐比	上野いく子		
田尻	竹内 七重	上井井田	前田 順子		

*ゴシックが新任の方

森山地区ふれあいいいきいきサロンあれこれ

【干拓サロン（田尻 干拓地区）】

諫早市消費者センター 中村敏弘所長による「悪徳商法・ニセ電話詐欺から高齢者を守る」の講話を10月2日に開催。多発している詐欺被害に他人事ではないとサロンと地域の方々も参加しました。

（干拓サロン 代表 平山幸子さん）

ニセ電話詐欺を防ぐには



【よろう会（下井牟田 原地区）】

よろう会は、12月7日諫早文化会館で開催された「介護予防と生活支援の地域づくりフォーラム」で「地域の宝」としてサロン活動を紹介しました。よろう会の皆さんは、ステージでいつも行うゲームや替え歌を大勢の観客に披露し拍手を浴びました。

（代表 江嶋美代子さん）

よろう会の発表



【な釜会・さくら会（田尻 釜地区）】

な釜会・さくら会は、12月16日に合同開催。水野正彦さん（本村）のギター演奏に合わせて懐メロを唄って忘年会を楽しみました。青春時代の歌を皆さんで口ずさみ楽しいひとときを過ごしていました。（な釜会 代表 山口三重子さん さくら会 代表 野崎和枝さん）

小さな苗が大きく株を張って豊かな稲穂に ～ 森山西小学校・東小学校の児童が稲刈り～

森山は昔からお米の産地。森山の人々にとって稲作は日常の暮らしであり、最も大切な生業（なりわい）でした。現在は、農家も減少して子どもが稲作を手伝うことはほとんどありません。両校が行っている米づくりの体験学習は、食の大切さを学び地域を知る貴重な体験となりました。

【森山西小学校】

種まきから始めた米づくりが稲刈りを迎えました。秋晴れの10月24日、5年生児童全員はJ A青年部の指導で手刈りでの稲刈りと大型コンバインでの収穫を体験。歓声が田んぼに響き渡りました。児童は、泥んこになって植えた苗から



らたわわに

実った稲を鎌で刈

大型コンバインの前で

りとり、それをコ

ンバインで脱穀してたくさんの粃ができる様子を興味深く見ていました。

また11月には、児童・保護者・J A青年部・食生活改善協議会の皆さんで餅つき大会を行い、お米から餅やポン菓子ができることも学びました。

☞手に鎌を持って稲刈りに挑戦



【森山東小学校】

5年生児童児童・地域の方々・教職員約30人は10月20日、東小学校田んぼで稲刈りを行いました。田植えのときに農家の方から「3～4本の苗は20本ほどに増えます」と教わったとおり、子どもたちは握りきれないほど大きくなった稲株に触れて稲の成長を実感していました。刈り取った稲穂を抱きかかえた児童の笑顔が印象的でした。

同校では、米づくりについてグループ研究しており、2月には研究発表会を開催する予定です。



ご寄付ありがとうございました

左記の方々からご厚意による寄付金をいただきました。

寄付金は、自治会福祉活動助成等、森山地域の福祉事業に大切にに使わせていただきます。

令和7年10月1日～12月31日

《香典返寄付》

◎本 村 岩本一博様

◎田 尻 野田 浩様

【亡妻 洋子様】
【亡父 正忠様】

《お知らせ》

○第2回ふれあいモルック大会

日時：令和8年2月11日（水）

午前9時から

会場：森山公民館

《表紙画像》

森山の干拓地に飛来した国特別天然記念物の「こうのとりの」。足環から兵庫県豊岡市で令和7年5月にふ化した若鳥と判明。（田尻 川淵エミ子さん撮影）